

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録(要旨)

開催日時 令和元年7月17日(水)
 開催会場 南日向公民館 参加者数 42名

発言内容	回答者	回答内容
赤岩川と吉野川が蛇行してお倉ヶ浜の砂浜がなくなっている。原因は、平岩漁港にテトラを積み過ぎたために流れが変わったことだと考えている。潮の流れを調査して、対策を講じてほしい。	市長	県に、近くの漁港に溜まった土砂を戻してもらおうよう浚渫（しゅんせつ）のお願いをしている。漁港を作る時には潮の流れなどを調査している。日向市に限らず、全国的に砂浜が狭くなっており、堤防を作るとか、砂を戻すと色々やっているが、思うようには解消されていないのが現状である。対策に関しては、国・県との協議が必要であるが、元の状態に戻すのは困難だと考えている。
赤岩川と吉野川の間にある流木を市と県で協力して除去してほしい。住民ではどうしようもない。	市長	流木に関しては現地を確認するが、除去となると重機が必要になると思われるので、可否を含めて調査させてほしい。 ※後日現地調査を行い、松林と砂浜との境界の段差に過去からの台風等による多量の流木が堆積していることを確認した。海岸管理者の日向土木事務所と協議を行ったが、流木の撤去にはかなりの費用が必要になることから、今後の漂着物の状況を注視しながら、引き続き対策を協議していく。
クリーン作戦は地域住民だけではなく、市職員もボランティア参加してほしい。一緒に作業を行うことで課題を共有できるので解決に繋がる。	市長	市職員も住民なので、各地区でクリーン作戦に参加している。民間企業やサーファーも不定期に海岸清掃を行っている。そういったこともあり、お倉ヶ浜は、一時期よりはきれいになったと感じている。
お倉ヶ浜には、台風等により木材や網、ロープなどが打ち上げられているが、量が多く重いため地域ではどうすることもできない。市で何とかしてもらえないか。	市長	現地を確認させていただく。 ※後日、環境政策課が清掃作業を行い、漁網やロープなどの重量のある漂着ごみを撤去した。流木については、海岸管理者の日向土木事務所と協議を行ったが、流木の撤去にはかなりの費用が必要になることから、今後の漂着物の状況を注視しながら、引き続き対策を協議していく。
自衛隊がホバークラフトの訓練を行うようになったが、時期を同じくしてアカウミガメが上陸しなくなった。市の方で何らかの対応ができないか。	市長	アカウミガメの生態については今後勉強させていただくが、他の地域でもカメが上陸しないという話も聞く。何が原因でカメが上陸しないのか判断できないので調べてみたい。 ※アカウミガメ上陸産卵には、年により全国的な増減の波もあるので、引き続き実態調査を行っていくことで、日向市近辺の海岸だけで発生している問題なのか、県内・国内の状況を観察していきたい。

発言内容	回答者	回答内容
商業施設が出来たこともあり、サーファーが増えてきた。金ヶ浜にシャワー室とトイレがあるが、その裏の土地を駐車場にしてもらえないか。宿泊施設も増えて、サーファーも増えると思う。	市長	民有地の利用は難しい。商業施設の敷地に隣接して国交省の土地があるので国にお願いしていきたい。
地域にできた新しい商業施設が原因で渋滞が発生。事故多発地であるため、何らかの対応が必要ではないか。また、当該地は、これまでサーファーが使用していたが、施設がオープンしたことで駐車場所が無い。市として、施設側と交渉することはできないか。		
笹野西区にある市営住宅については、木造で老朽化しており、新たな入居者を入れていない状況。防災や安全面で不安もある。今後の対応について説明してほしい。	建設部長	当該住宅は、老朽化しているので、公共施設管理計画に基づいて今後整理していくことになる。将来的には、取り壊しの方向で考えている。
新しい図書館の整備について、構想策定をお願いしたい。まちづくりの中でも大きな位置付けだと思う。	市長	公民館なども老朽化しているので、公共施設マネジメントの中で年次的に更新していく必要がある。図書館は集客力があるが、それ以外でも集客できる施設がないかを検討することも必要だと考えている。図書館整備は、頭の中にはあるが、構想には至っていない。今後、総合計画後期計画の策定過程で議論していきたい。
子どもを産み育てる受け皿がないと移住者は増えないと思う。一昨年から平岩小学校に放課後児童クラブの設置をお願いしているが、どうなっているのか。	市長	児童クラブの課題は十分に理解しているが、解決に至っていない。大変申し訳なく思っている。今後も、しっかり取り組んでいきたい。
平岩には、市街化調整区域があって家が建てられないから住民も増えない。外す方法はないのか。	市長	市街地調整区域は都市計画法に基づき指定される区域で、無秩序な開発をさせないためのものである。この区域に平岩地域も一部入っている。国・県との調整がうまくいかない部分がある。また、他市では、一度調整区域を外したものの、逆に規制をかけないといけない状況も出てきている。担当課に個別にご相談いただきたい。
貧困や認知症、DVなど、複数の課題を抱える家庭が存在する中で、行政は縦割組織であるため、トータルでその家庭をサポートするところがない。総合窓口の設置と関係機関の連携が必要ではないか。	市長	1つの家庭が複数の課題を抱えている場合、ワンストップで対応するためには、行政が縦割りの弊害をなくしていかなければならない。他の業務との関係もあるので、調査研究が必要と考える。
高額医療費制度が複雑で理解が難しいので、条件などが簡単に把握できる表などの資料を作してほしい。	市長	市役所で個別に対応するので、窓口までお越しいただきたい。

発言内容	回答者	回答内容
<p>小中学校にエアコンが設置された。大変ありがたい。子どもたちも助かると思う。また、平岩小中学校に図書館司書が配置されたことで、図書室の美化が図られ、利用者が増えたように感じる。</p>		

座談会のようす

